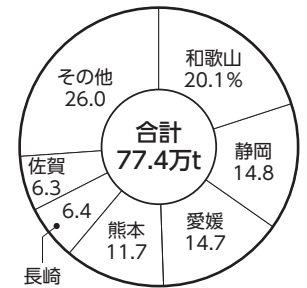


1. 競争力を高める取り組み

- 資料Ⅰで愛媛県の部分に赤色で着色しよう。
- 次の①～③にあてはまるかんきつ類を記入し、愛媛県でさまざまなかんきつ類が栽培されるようになった経緯をまとめてみよう。

1990年代以前	1990年代	それ以降
みかんが栽培の中心だった。	アメリカ合衆国から(①)が輸入される。	品種改良を重ね、伊予かんや(②)、(③)などを栽培し、差別化を図る。

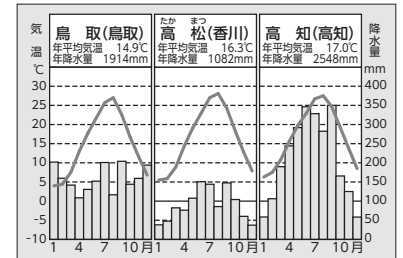
資料Ⅰ みかんの生産量



- 生口島や岩城島では、みかん以外にどのようなかんきつ類の栽培が行われているか、地図帳で調べてみよう。
- 瀬戸内では、なぜかんきつ類の栽培が盛んなのだろうか。資料Ⅱなどを参考に、さまざまな面から考えてみよう。

資料Ⅱから	
その他の面から	

資料Ⅱ



- 高知平野ではどのような野菜が栽培されているか、地図帳から調べてみよう。

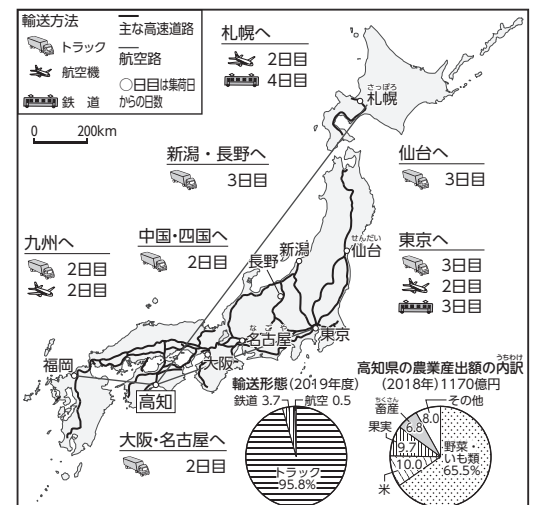
- 夏に旬を迎える野菜を、ビニールハウスなどを使って冬から春にかけて出荷する栽培方法を何といいますか。

2. 交通網の発達による市場の拡大

資料Ⅲから、高知県の野菜の出荷先や輸送手段の特色をまとめてみよう。

輸送手段	おもな出荷先	特色
トラック	全国各地	
鉄道		
航空		

資料Ⅲ 高知県の農業産出額と野菜の輸送形態、主な出荷先への輸送手段



本時のまとめ

- ◆ 南四国ではなぜ促成栽培を行っているのか、図8や本文を参考に説明しよう。

.....

.....